

あきた 商 Biz⁺ plus



Official HP

チャンスを活かして
変化を生み出す



代表者会議の様子

令和5年10月23日に設立された「秋田の未来を創る協議会」の代表者会議が、9月5日（木）秋田キャッスルホテルで開催されました。

最高顧問である秋田県佐竹知事をはじめ、「政・官・学・財」の代表である県議会議員、市町村長、大学関係者、経済産業団体関係者など約100名に出席いただきました。

この会議で、本協議会がこれから取り組んでいく4つのテーマが承認されました。

本号では、この4つのテーマをわかりやすくご紹介いたします。

Contents

P.1~2

地域経済の活性化
「秋田の未来を創る
協議会」代表者会議

P.3~5

地域経済の活性化
テーマ①~④

P.6

お知らせ

2024年11月発行

Vol.605

秋田県商工会連合会報

奇数月1日発行
発行日/令和6年11月1日
(昭和45年12月3日第3種郵便物認可)



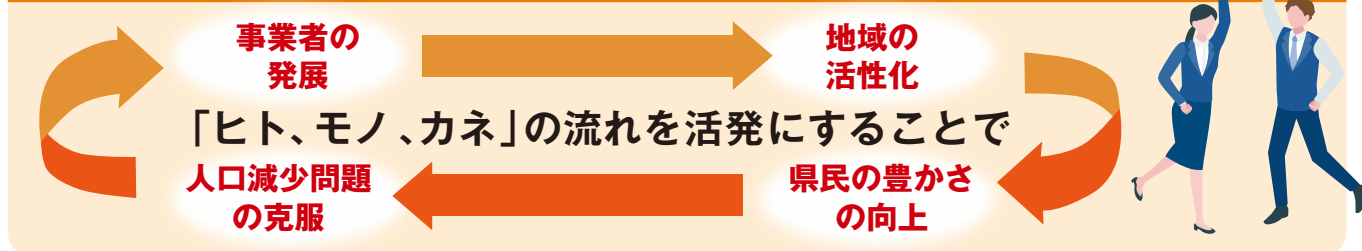
秋田の未来を創る協議会のこれまでの活動

「秋田の未来を創る協議会」(以下協議会)は、「地域の活性化なくして事業者の発展はない」との基本的な考えのもと、「政・官・学・財」の各機関が一堂に会し、秋田県の優位性とチャンスを生かして「明るい秋田」を実現することを目的に活動しています。

協議会設立から現在まで、右図のとおり活動を行い、約400のアイデアや意見をいただきました。

これまでの活動		会報掲載
R5.12	県北・中央・県南 学生モニターツアー	600号
R6.2	(県北：能代市) 地区別部会(中央：秋田市) (県南：横手市)	601号
R6.6	共同代表会議	—
R6.6~8	アイデア全国公募	603号

協議会が目指すもの



これまでの約400のアイデアや意見を4つに分類しました。

分類1	移住定住の促進	住みやすさ、交通の利便性向上を図り、移住定住を促進する。
分類2	産業の裾野拡大	再生可能エネルギー等のポテンシャルを生かして、産業の裾野を広げる。
分類3	人材の育成	産業界に貢献でき、成長産業を支える人材を育成する。
分類4	観光消費額の増加	秋田県内の観光コンテンツを繋ぎ、磨き上げ、観光客の消費額を増やす。

協議会として取り組むべきアイデアを決めるための基本的な方針

- ・「明るい秋田」の実現に向け、県全体で取り組む機運が盛り上がるものであること。
- ・地域への具体的な経済波及効果が期待できること。
- ・将来的な事業展開の可能性や広がりを見据えた取組であること。
- ・全県域のほか、県北、中央、県南地区の目玉となる取組であること。

分類されたアイデアは、上記の方針により4つのテーマに絞られました。

- テーマ1 東能代駅から能代駅間の「スイッチバック化」の実現
- テーマ2 秋田港・船川港・能代港を結ぶ交通ネットワークの整備
- テーマ3 将来の産業界を支える人材の育成
- テーマ4 県南“食と文化”に関する広域観光の強化



→次のページからそれぞれのテーマを紹介します。

テーマ① 東能代駅から能代駅間の「スイッチバック化」の実現

背景

能代市の大きなポテンシャル

- ・能代市は、「能代駅」周辺に高校や病院、市役所、港湾などが立地する県北地区沿岸部の中心都市である。
- ・能代市は、洋上風力発電の基地港湾である「能代港」や、大手製材会社、JAXAのロケット実験場がある。



公共交通の不便さ

- ・「能代駅」は、奥羽本線から外れているため、能代市外から「能代駅」に通勤通学する場合は、「東能代駅」で乗り換えなければならない。
能代市内から、秋田市、大館市に移動する場合も同様である。



- ・能代市から秋田市内に電車で通学していますが、「東能代駅」での乗り継ぎに不便さを感じています。
(県北地区部会／学生の意見)
- ・車を運転できないので、行動範囲が限定され、県内の魅力に触れる機会が少ないです。
(県北・中央・県南地区部会／学生の意見)

狙い(目的)

「スイッチバック化」を実現することで・・・

- ・学生や高齢者が、電車を乗り換えることなく、「秋田駅」と「能代駅」の行き来が簡単になる。
- ・医療、教育、雇用など、生活利便性が高い住環境が形成される。
- ・「能代駅」の利用客数が増加することに伴い、中心市街地の経済活動が活発化する。
- ・県北地域一体の産業振興や地域活性化、人口の流出抑制・流入増加にも寄与する。

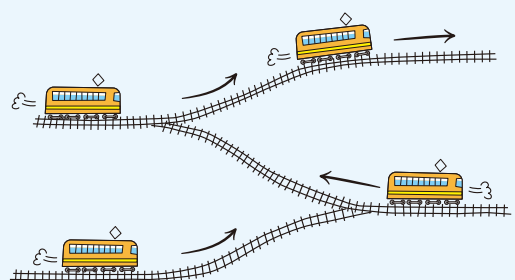
今後の取組

奥羽本線の「東能代駅」から「能代駅」へ到着した後、「東能代駅」へ向かうため、反対方向へ進路変更する「スイッチバック化」の実現を、東日本旅客鉄道株式会社に要望する。



「スイッチバック」とは？

主に登山鉄道で使われており、急斜面にジグザグ状に線路を敷いて、こう配を緩和し、列車の進路を変更をして坂を登っていく方式のこと。





テーマ② 秋田港・船川港・能代港を結ぶ交通ネットワークの整備

背景

3港湾の風力発電事業の現状

- ・本県では4つの海域が洋上風力の促進区域に選定され、「秋田港」と「能代港」が建設拠点の基地港湾に指定されている。
- ・洋上風力事業の拡大に伴い、「船川港」は「秋田港」「能代港」のバックアップや船舶修理の拠点形成が見込まれる。



狙い(目的)

輸送環境を整備することで・・・

- ・トラック輸送の負担軽減や時間短縮を図る。
- ・洋上風力関連の作業員や資材、秋田港のコンテナ貨物等を迅速かつ円滑に輸送できる。
- ・クルーズ船観光客の各観光地等へのアクセスが改善する。

今後の取組

協議会と港湾関係者が中心となって、3港湾が連携した将来ビジョンを明確にし、3港を結ぶ交通ネットワークやバックヤード整備のメリット、課題等を検討する。



テーマ③ 将来の産業界を支える人材の育成

背景

県内企業の状況と若者の地元定着への意識

- ・県内には、洋上風力発電やデータセンター等の関連産業への参入に意欲的な企業があるが、必要な技術力や英語力を備えた人材が不足している。
- ・県の「若年者の県内定着・回帰等に関する意識調査報告書」(令和4年1月)によると県内大学生等の58%が卒業後の就職先を「秋田県内」と回答し、地元志向が半数以上である。



狙い(目的)

人材を育成することで・・・

- ・県内企業の成長分野への参画や、若者の地元定着を進める。
- ・「人材」と「エネルギー」を秋田の強みとしてブランド化し、企業誘致を促進する。

今後の取組

大学と産業界が中心となり「人材育成部会」を設置し、「大学のニーズ」と「企業のニーズ」を踏まえ、定期的に具体策の検討を行う。

企業のニーズ

- ・英語が使って国際化に対応できる人材。
- ・風力発電とデータセンター両方のメンテナンスができる人材。
- ・自社内でシステムの改修をプログラミングできる人材。



大学のニーズ

- ・新しい発想を生むための自由な意見交換の場。
- ・大学の強みを活かした課題解決型インターンシップ。
- ・大学の“知”を実用化するため、企業と連携した実験等。



テーマ④ 県南“食と文化”に関する広域観光の強化

背景

県南の観光コンテンツの現状

- ・ 県南には、多くの魅力ある観光コンテンツが多数存在している。
- ・ 「自然」、「食」、「伝統工芸」、「文化」の観光コンテンツをネットワーク化し、相乗効果で付加価値を高めることが求められている。



自然	奥羽山脈、田沢湖、温泉、ゆざわジオパークなど。
食	稲庭うどん、西馬音内そば、日本酒など。
伝統工芸	川連漆器や樺細工、楢岡焼など。
文化	かまくら、西馬音内盆踊り、まんが館など。

狙い(目的)

広域観光を強化することで・・・

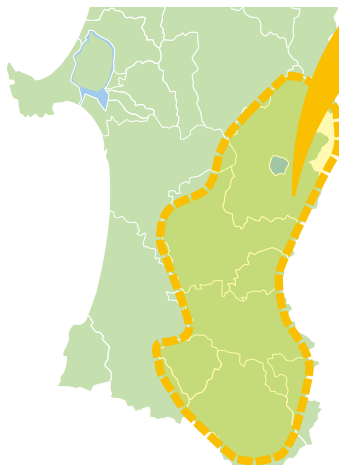
- ・ 県南地区の特徴である「食と文化」を統一テーマに、観光ストーリーを構築する。
- ・ 各観光コンテンツに関連する事業者が一体となり、参加・体験型の観光メニューの付加価値を高めることで、観光客の満足度向上を図る。
- ・ 県南地区観光を「通過型」から「周遊宿泊型」に転換し、観光消費額の増加につなげる。

今後の取組

参画事業者の役割を明確にした民間主導の「広域観光組織」を作る。

広域観光組織の具体的な活動例

- ・ 鉄道やバスなどの公共交通事業者と連携し、四季を活かした体験型モデルコースを作る。
- ・ 電子クーポンを導入した専用サイト(アプリ)を作成し、県南地区を巡る仕掛けをつくる。
- ・ おもてなし人材を育成する講習会・交流会を実施する。
- ・ 大手ホテル企業の誘致活動を行う。



商工会活動を支援する秋田県議会議員連盟との「情報交換会」

上記会議が、9月18日(水)に開催され、県議会議員35名、商工会関係者28名にご参加いただき、人手不足の現状や対策について活発な意見交換が行われました。

発表内容等は以下のとおりです。

テーマ	「人手不足対策の取組」
発表者	北嶋鉄工株式会社(二ツ井町) 株式会社ベルモード(由利本荘市) 株式会社小野建設(羽後町)

テーマ	「業種ごとの現状と悩み事」
発表者	建設業 三種町商工会 田中洋平会長 介護業 大仙市商工会 長澤典雄会長 小売業 美郷町商工会 檜森吉裕会長

第9回経営支援事例発表大会

上記大会が9月13日(金)に開催されました。

発表概要等は以下のとおりです。

所属商工会	発表者名	発表テーマ	支援先事業内容
美郷町	高橋 真子	生産量4倍アップを実現！ —町工場の支援から学んだ3つのこと— 最優秀賞	コイル・トランス製造
かづの	金田 智美	創業100年を超える老舗豆腐店が挑む「とうふ定食」	豆腐製造
北秋田市	岩井 紘子	物価高騰に対応するための価格改定支援	ペットサロン
上小阿仁村	若狭 亮	地域の垣根を越えた「新商品開発」 ～3商工会連携によるチーム支援～	食用ほおずき製造
三種町	中川 俊寿	規格外「椎茸」の活用に向けた事業者間連携 ～「椎茸うどん」の復活と販路拡大支援～	椎茸の製造加工販売
男鹿市	伊藤 健一	新たなるラーメン事業への挑戦 ～売上高の増加に導いた伴走型支援～	酒類製造販売、飲食店
にかほ市	吉田 大樹	老舗麴店の生き残りを懸けた『Goope』導入 ～チーム支援という名の終わりなき旅～	麴製造小売
大仙市	長澤 名保美	秋田発「Japanese smoked radish」の挑戦 ～海外展開を可能にした連携支援～	農産加工品企画販売
ゆざわ小町	佐藤 真由美	逆風を追い風に！物価高騰は事業成長チャンス！ ～ラーメン店の利益増加計画～	ラーメン店

よこて市商工会本所・県連合会南部拠点が移転

「よこて市商工会本所」と「県連合会南部拠点」は、10月1日(火)に次の住所に移転しました。
【所在地】

019-0508 横手市十文字町十五野新田字増田道東19番地 三重地区交流センター2階

よこて市商工会
ホームページ



広告

商工会員だけの大きな特典
商工会が提案する4つの安心サポート

商工貯蓄共済

経営指導
経営のトータルサポート

生命保障
万が一に備えた
リスク管理サポート

資金繰り
企業の資金繰り
サポート

貯蓄
資産の充実
サポート

どちらも毎月
2,000円
から

あなたも家族もまるごと守る！
頼れる補償の商工会の福祉共済

全国商工会会員福祉共済

「けが」の
補償

「病気」の
補償

「がん」の
補償



※この紙は再生紙を使用しています。

発行所／秋田県商工会連合会 〒010-0923 秋田市旭北錦町1番47号秋田県商工会館内 電話／018-863-8491(代)
購読料／1部10円(会費に含む)